

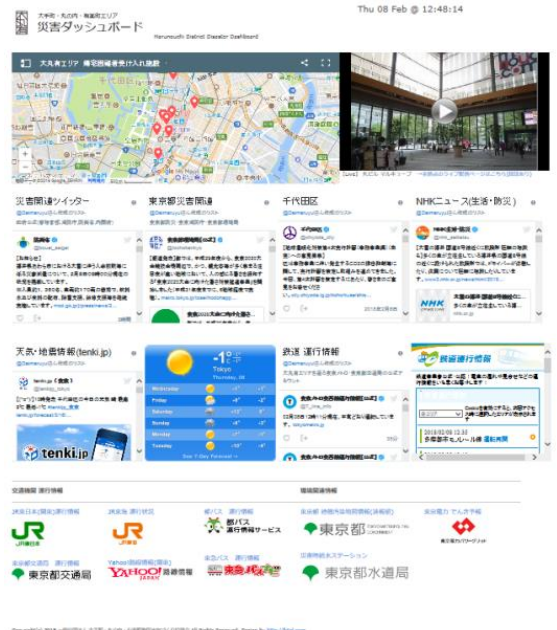
～大手町・丸の内・有楽町におけるエリア防災の取り組み～

国内初、事業者向け「災害ダッシュボード」のライブカメラを使った防災訓練を実施

三菱地所株式会社は、大丸有（大手町・丸の内・有楽町）エリアにおける防災の取り組みとして、同エリアの鉄道・不動産事業者等での災害時の状況把握、帰宅困難者対策、負傷者対応などに活用するため、今般、試験的に開発した「災害ダッシュボード」（プラットフォーム）を使い、当社をはじめ 10 事業者等にライブ映像を配信する防災訓練を、「平成 29 年度千代田区帰宅困難者対応訓練」に合わせて 3 月 9 日（金）に実施いたしました。

【「災害ダッシュボード」の特徴】

- (1) **国内初、事業者が災害時に必要な情報をワンストップで表示**
帰宅困難者の滞留状況や負傷者対応状況をライブ配信で画面上に表示し、事業者間で情報共有。インターネット上の公式オープンデータ（行政情報、鉄道情報）を集約して表示。
- (2) **適切な人員配置や物資移動など周辺との連携に寄与**
帰宅困難者受入施設における仮救護所の状況や、周辺駅のライブ映像情報を災害対策本部で把握できることで、人員の配置や物資移動を最適化。周辺のビル事業者等と情報を共有し、各社の災害時自助活動の最大化と相互連携を目指す。
- (3) **負傷者対応状況の共有で災害時の医療連携を高度化**
当社仮救護所や聖路加メディロカスのトリアージ場所／診療所での負傷者対応状況を聖路加国際病院等の医療スタッフと共有し、災害時医療連携の更なる高度化を図る。



▲「災害ダッシュボード」画面イメージ

【防災訓練の概要】

- 日 時：2018年3月9日（金）9:00～10:00
- 実施場所：東京都千代田区丸の内2丁目4-1
丸の内ビルディング 7F 丸ビルホール（三菱地所 災害対策本部（想定））
- 実施内容：① 9:00～全体の概要説明 @丸の内ビルディング 7F
② 9:10～「災害ダッシュボード」概要説明、開発の経緯、デモンストレーション
画面を通じて駅周辺や帰宅困難者受入施設の状況、仮救護所・トリアージ場所・診療所等の状況を把握。千代田区、鉄道事業者や他のビル事業者と共有。
- 参加者：千代田区、三菱地所、東日本旅客鉄道、聖路加国際病院・聖路加メディロカス、森トラスト、読売新聞東京本社、サンケイビル、ニッポン放送、糖業協会、他

災害時には、周辺状況を把握することが重要であり、「災害ダッシュボード」のライブ映像によって要配慮拠点の情報を事業者や災害対策本部などと共有できることが、今後の災害対策の高度化に繋がるものと考えております。

当社は、大丸有エリアにおいて、丸の内ビルや新丸の内ビルをはじめ現在 15 棟の建物で千代田区と帰宅困難者受入施設の協定を締結しておりますが、今後も災害対策に有効なサービスを目指し、更なる災害対策強化を推進してまいります。

【「災害ダッシュボード」 防災訓練の詳細】

■実施の経緯

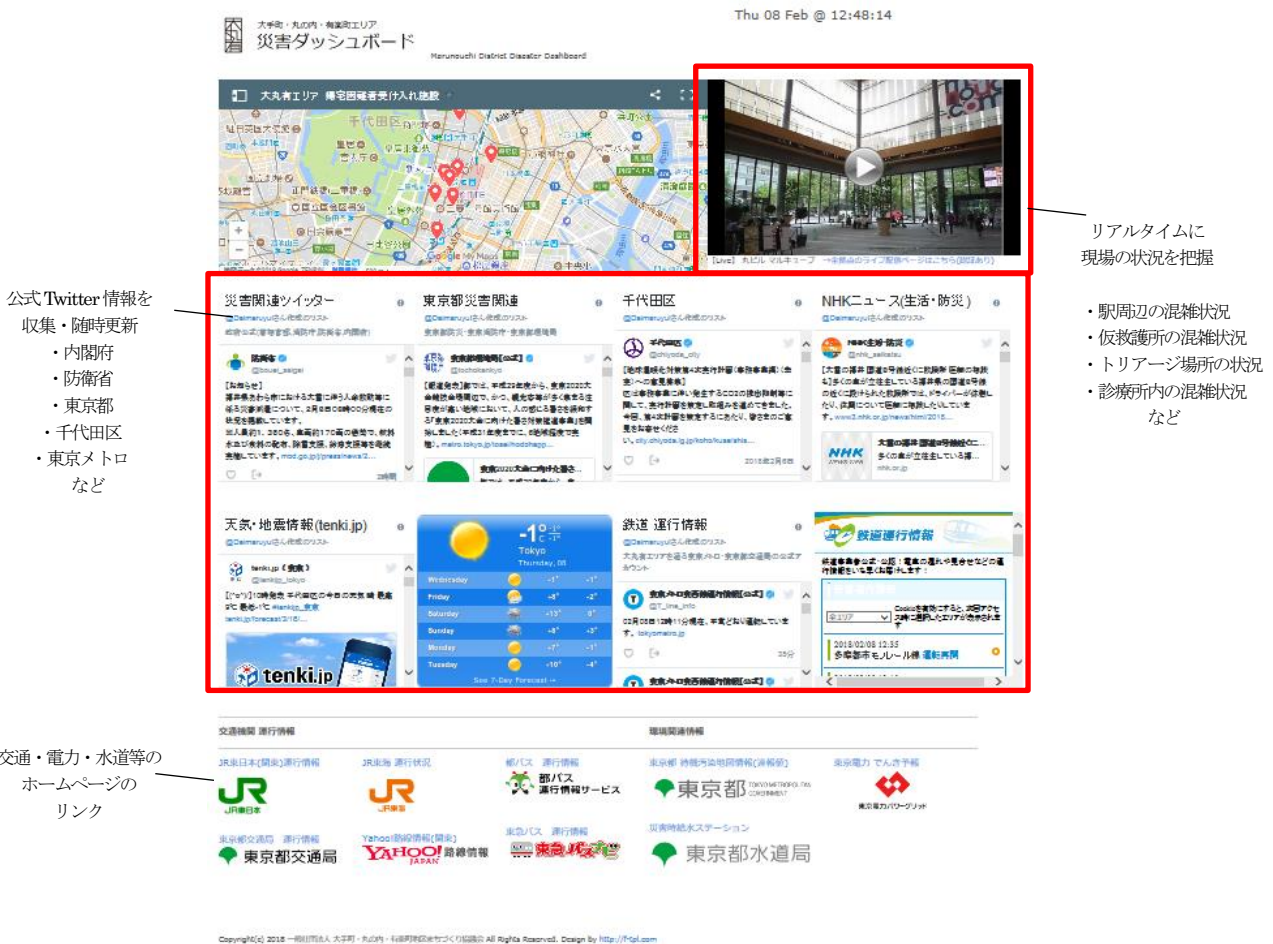
当社は、東京都心・臨海地域特定都市再生緊急整備地域・会議の構成員として、大手町・丸の内・有楽町地区都市再生安全確保計画に参画しております。今般、同計画における作成部会（研究会）が実証実験として開発した「災害ダッシュボード」（プラットフォーム）を使い、当社をはじめ 10 事業者等にライブ映像配信をすることで、エリアの鉄道・不動産事業者などでの災害時の状況把握、帰宅困難者対策、負傷者対応などに活用するため、「平成 29 年度千代田区帰宅困難者対応訓練」に合わせ、3 月 9 日（金）に防災訓練を行いました。

■「災害ダッシュボード」の機能

「災害ダッシュボード」（WEB 画面）は、帰宅困難者対策に取り組むビル事業者・鉄道事業者、千代田区(*)向けに、大丸有エリアの駅周辺、帰宅困難者受入施設、トリアージ場所等の拠点から、帰宅困難者の滞留状況や負傷者対応状況のライブ配信を同ダッシュボード上で表示し、またインターネット上の災害時に有用な公式オープンデータ（行政情報、鉄道情報）の集約表示する機能を有しています。

(*)：参加者…千代田区、三菱地所、東日本旅客鉄道、聖路加国際病院・聖路加メディローカス、森トラスト、読売新聞東京本社、サンケイビル、ニッポン放送、糖業協会、他

本機能は、災害時において、仮救護所担当の応急救護班がスマホのアプリを起動・簡易設置してライブ映像配信することを想定しております。このアプリの仕組みは、アイ・ピー・エル社の映像配信プラットフォーム（製品名 クラストリーム：専用アプリから発信される映像をクラウドサーバーにて中継し視聴する仕組み）を「災害ダッシュボード」に組み込み、WEB 制作したものです。



当社は、千代田区と連携協定を締結している帰宅困難者受入施設における仮救護所の状況や、周辺駅のライブ映像情報を災害対策本部で把握することで、人員の配置や物資に移動を最適にでき、また周辺のビル事業者・鉄道事業者とこの情報を共有することで、各社の災害時自助活動との連携に寄与できると考えております。さらに、仮救護所や聖路加メディローカスのトリアージ場所/診療所での負傷者対応状況を聖路加メディローカス等の医療スタッフと共有することで、災害時医療連携の更なる高度化を図っていきます。



- ・LIVE-1 丸の内ビル1階 マルキューブ (三菱地所)
- ・LIVE-2 丸の内パークビル・一号館広場 (三菱地所)
- ・LIVE-3 東京ビル1階 西側ガレリア (三菱地所)
- ・LIVE-4 東京駅 丸の内 駅前広場@丸ビル5階より
- ・LIVE-5 東京駅 丸の内南口地下付近 (JR 東日本)
- ・LIVE-6 有楽町駅 中央西口付近@有楽町ビル3階より
- ・LIVE-7 丸の内トラストタワー本館 (森トラスト)
- ・LIVE-8 大手町フィナンシャルシティ1階 アトリウム (聖路加トリアージ場所)
- ・LIVE-9 OFC2階 聖路加メディロカス 受付付近 (聖路加国際病院)



▲帰宅困難者の様子 (丸ビル)